

2023年1月～3月活動報告

天塩町地域おこし協力隊 野口 裕康

活動の方針と見通し

昨年に比べ、留萌管内の自治体と連携して活動を行う機会が徐々に増えてきた。天塩町の姉妹友好都市であるアラスカ・ホーマー市との交流事業において、町内の中学校・高校がホーマー市の学校とオンラインで交流する授業が非常に活発になっており、新年度はより深い交流に向けて活動を展開したいと考えている。

活動記録

1 留萌管内協力隊ネットワーク連携プロジェクト

タブレット活用によるデジタルアンケートシステム開発

従来、イベント開催時にアンケート調査を実施する場合、印刷したアンケート用紙を事前に準備し対象者に記入してもらう方法と、QRコードを読み込んでGoogleフォームへ誘導し、オンラインで入力してもらう方法が一般的であった。以前のイベントで行われたふるさと納税に関するアンケート調査では、印刷用紙を利用する方法は筆記用具で記入するため時間がかかる上、印刷コストの面から商品やカラー写真を提示できないという欠点があった。一方、オンラインでフォームに記入する方法は、高齢者を含むデジタル端末操作に不慣れた層が回答しにくいことや、スマホ非保有者に対して別途タブレット端末の提供が必要となる問題があった。

今年の3月に開催予定のイベントでも、ふるさと納税に関するアンケート調査を実施する予定だったが、今回は会場でフリーWi-Fiが利用不可となっていたため、インターネット接続が不要で多くの来場者に回答してもらえるデジタルアンケートシステムの開発を目指した。

来場者が自由にタブレット画面からアンケートに参加できるよう、タブレット上にアンケート回答へ誘導する開始ボタンを常時表示させ、空港やショッピングモールに設置されているデジタル案内板のような操作性で回答を進められる設計を採用した。さらに、インターネットに接続せず、会場に設置した家庭用ルーターを通じてローカルサーバー上のデータベースに回答結果が保存される仕様とした。



▲今回利用したアンケートシステムの画面（左上から右下へ進めていく）

留萌管内地域の PR イベント出展：阪神梅田本店（大阪市）

留萌管内の他自治体（留萌市・増毛町）と協力隊が連携し、大阪市の百貨店阪神梅田本店で開催された留萌管内地域の PR イベントに、協力隊ネットワーク連携プロジェクトとして参加した。

天塩町のブースでは、ふるさと納税に関するアンケートに回答した来場者へ、天塩町オリジナルのノベルティグッズをプレゼントした。多くの来場者が立ち止まってアンケートに回答し、タブレットで回答している人を見て興味を持ち、回答を始める様子も多く観察された。天塩町のふるさと納税返礼品を乳製品・スイーツカテゴリとそれ以外のカテゴリに分類し、ふるさと納税ポータルサイトで使用されている写真を許可を得て掲載した。アンケートでは、魅力的な返礼品について回答を求める質問があり、多くの来場者が何分も考えながら魅力的な返礼品を選択していた点が印象的であった。

集計されたデータと統計学的手法による分析結果は、町に共有および報告を行う予定である。



▲会場で使用したデジタルアンケートシステム



▲天塩町のブース

留萌管内地域の協力隊活動紹介のインタビュー映像制作

留萌管内の地域おこし協力隊の活動や協力隊制度を紹介し、移住の魅力を PR するインタビュー映像制作が協力隊ネットワークのプロジェクトとして実施された。本プロジェクトにおいて、自分は近隣地域でインタビュー映像制作への同意が得られた遠別町の地域おこし協力隊を紹介するインタビュー映像の制作を担当した。



▲インタビュー時の様子



▲制作したインタビュー映像

2 アラスカ・ホーマー市との交流事業

天塩中学校でのオンライン交流授業（授業：2回 発表会：1回）

天塩中学校の授業では、天塩町の魅力ある地域資源である「天塩川」「自然」「乳製品」「夕日」「しじみ」「動物」をテーマに、地域を紹介するプレゼンテーションが行われた。

このプレゼンテーションの内容は、このプレゼンテーションの内容は、後日アンカレジ領事館が主催したオンライン発表会「The Presentations」で発表映像として放映された。



▲交流授業の様子



▲発表会 The Presentations でのプレゼンテーション

天塩高等学校でのオンライン交流授業（授業：4回）

天塩高校の授業では、生徒たちが英語を使ってホーマー市の学生とコミュニケーションを取ることが重視された。第1学年の授業では、「happy」などの感情が記されたカードを使い、顔の表情から相手にその感情を伝えるゲームが実施された。



▲第1学年の授業の様子

3 るもい MIRAI アクションへの参加

留萌管内の学生や若者が地域の課題に実践的に取り組む活動を紹介するオンライン報告会「るもい MIRAI アクション」に、地域づくりに関与する立場で参加した。天塩町からは、天塩高校が「高大連携地域づくり事業」に関する発表を行った。



▲天塩高生による発表



▲地域づくりに関わる者としてコメントを行った

4 啓徳小学校での放課後学習サポート

昨年に引き続き、啓徳小学校の放課後学習に参加し、希望する生徒に対して教科のドリルなどを用いた復習サポートを行った。そのほか、留萌管内のユニークな魅力が描かれたオリジナル花札「萌か留た（もえかるた）」を使った神経衰弱ゲームや、屋外活動の一環として生徒と一緒にかまくら作りを行った。

1月～3月にかけては、計4回参加した。



▲生徒とかまくら作りを行った



▲「萌か留た（もえかるた）」を使った神経衰弱

5 高齢者スマホ教室のサポート

社会福祉会館で開催されたスマートフォン操作教室に参加し、参加者への個別の質問対応や操作方法の指導などのサポートを行った。



▲個別に質問の対応を行った

その他の制作物・参加イベント等

本活動報告書に記載のある制作動画等の一部を、[以下のQRコードからアクセスできるページ](#)上で、報告書添付用資料として掲載している。



- (1) ましけスノーアクティビティ（1月8日）
- (2) 幌延町地域おこし協力隊との教育分野についての意見交換会（1月23日）
- (3) モンベルアウトドアビレッジ構想に関する意見交換会（1月25日）
- (4) 啓徳小デジタル相談（2月8日）